

「送料無料」表示に関する消費者の意識について(令和6年度第1回消費生活意識調査(令和6年8月実施)より)

- (1)「送料無料」表示を見聞きしたことがある人のうち、「送料無料」表示の見直しの議論についても見聞きしたことがあるという人は約8割になる。そのうち、①内容もよく知っている人が約3割、②詳しい内容は知らない人が約5割。
- (2)見直しの議論の内容について、詳しい内容は知らない人においては、(B)「送料無料」と表示することに問題はないと考える人が多数。一方で、よく知っている人でも、(B)問題はないと考える人が半分いるが、(A)「無料」と表示するのはやめるべきと考える人の割合は増加する。

- **消費者の物流サービスに対するコスト意識の浸透と集荷・配達に携わるトラックドライバーに対する社会的な理解の醸成のため、商取引において物流サービスが無償で提供されているという誤解を招かないよう、消費者や事業者の理解醸成の取組を積極的に進めていく。**

